

# みんなのひろば



## ところざわ 歴史まめ知識 ③

今回は、邑年に起こった所沢の主な出来事の中から3項目を選んで紹介します。

**享保10年(1725)「所沢原」分割** 8代将軍吉宗の時代、幕府は財政難解消のため武蔵野の原野を開発する政策を打ち出します。江戸町奉行の大岡越前守忠相がこの事業を採配し、享保10年、配下の代官岩手藤左衛門によって武蔵野の一部「所沢原」も分割され、開発すべき場所として周辺の村に割り当てられました。ここで言う「所沢原」は、現在の市域の北西寄りの一帯の一部を指します。開発が完了するまで何年もかかりましたが、手つかずの原野が生活空間に組み込まれる第一歩となりました。

**明治14年(1881)所沢「町」誕生** この年、所沢村は戸長と村民300人余りの連名をもって、「所沢町」への改称を県庁に願い出しました。「所沢村は幕末から次第に繁栄し、特に維新後は商業を営む者も増え、町場として周辺の農村の中心となっている、そこで村民の宿願として『所沢町』という名称に改めたい」という趣旨でした。この時期の「町」は現在のように人口などの要件を必要とせず、この請願は、およそ5カ月後に内務省によって認可され、「所沢町」が誕生しました。

**大正6年(1917)湖月会発足** 明治時代に所沢の町場の発展を支えた織物業は、洋装の普及とともにかげりを見せ始めます。業界の企業努力の中で設立されたのが湖月会で、業界有力の平岡徳次郎商店を中心に、川越の県立工業学校を卒業した技術のある機業家が集い、流行を意識した商品を世に送り出しました。デパートでの品評会や婦人雑誌への広告掲載など宣伝にも力を注ぎ、「湖月明石」などの夏物おしゃれ着は、昭和不況期まで所沢の織物業界をけん引しました。



▲湖月明石の宣伝ポスター

**問い合わせ** 生涯学習推進センターふるさと研究  
☎2991-0308 ☎2991-0309

**所沢市消防出初式**

1月7日(月)午前10時～正午(小雨決行)／所沢航空記念公園内(所沢航空発祥記念館南側)

【第一部「式典の部」、第二部「訓練の部」】

【訓練の部の主な内容】  
徒列分列行進 消防音楽隊の演奏に合わせ消防職員・団員による行進、幼年消防クラブの泉町保育園・双美保育園の園児による鼓笛隊のパレード

消防基本訓練 消防職員の若い力とチームワーク、一糸乱れぬ部隊行動の披露

車両分列行進 消防ポンプ車・はしご車・救急車等によるパレード

はしご乗り演技 所沢倉組合の皆さんによる、「伝統の「はしご乗り」の披露

消防活動訓練 消防職員による「こころの訓練成果の披露と10台の消防



▲昨年の様子(撮影:市民カメラマン・八木豪彦)

同車両による一斉放水  
その他 消防PRコーナーの開設、消防車両、住宅用火災警報器等の展示

◎当日午前9時に市内全域でサイレン(演習招集信号)が鳴りますので火災と間違えないようにご注意ください。なお、天候等により内容を変更する場合があります。

消防本部総務課  
☎2929・9120

「自分の住む地域は自分たちで守る」「所沢が好き」という思いをお持ちの方、ぜひ応募ください。

◆市内在住の18歳以上の方  
◆年齢や居住地等は、平成25年4月2日時点です。6カ月以上の長期にわたり居住地を離れて生活する方は応募できません。

待遇 ◆身分は非常勤特別職の地方公務員 ◆条例で定める報酬等を支給 ◆活動中の怪我等への補償 ◆制服・盛夏服・活動服等一式を貸与

◆男性消防団員  
募集人数 26人  
◆災害現場等の消火・警戒活動、各種訓練・広報活動等  
採用方法 居住地等を管轄する分団長との面談



▲所沢市消防団特別点検での女性消防団員

行事名	開催日時
傘修理(1人1本)	1月19日(土)／午後1時30分～
包丁研ぎ講習会	1月19日(土)／午後1時30分～
ルームシューズづくり	1月23日(水)／午前10時～
おもちゃの病院	1月26日(土)／午後1時30分～
大型再生家具抽選会(40点程度)	1月12日(土)・26日(土)／いずれも午前11時～◎当日の申し込みは午前10時30分までです。
小型再生家具即日頒布(10点程度)	毎週金曜日午前10時～◎中止の場合がありますので、事前にお問い合わせください。

◆1月のエコロの行事

◎いずれも申し込みが必要  
要です。また、大型再生家具抽選会では学習机等を多く出品する予定です。

◆ひな人形づくり  
不用になった和服を利用してかわいひな人形を作ります。  
日(土)午前10時～午後3時  
いずれの日も申し込み先着10人  
不用な絹の布、ペレット、裁縫道具、バンド、昼食  
1月の休館日 1日(祝)・3日(祝)・7日(祝)・14日(祝)・15日(祝)・21日(祝)・28日(祝)

会場 1月4日(日)からリサイクルふれあい館 ☎2994・5374 へ  
電話



▲男女合わせて17チームの小学生が参加した『平成24年度第3回所沢市少年少女球技大会(ドッジボールの部)』。勝利を目指し、対戦相手めがけて思い切りボールを投げました。

12月1日(土)／市民体育館  
(撮影:市民カメラマン・中村 仁)



▼所沢のマチを200人を超えるサンタが練り歩いた『サンタを探せ!2012』。一足早いサンタクロースの登場に子どもたちは大喜びでした。

12月15日(日)／元町コミュニティ広場ほか  
(撮影:市民カメラマン・木村清貴)



▶紙ヒコーキの滞空時間でギネス記録に挑戦した「2012折り紙ヒコーキ大会in所沢」。残念ながらギネス記録は生まれませんが、幼児から大人まで200人を超える参加者が、記録を目指して思い切り腕を振りまわりました。

11月25日(日)／市民体育館  
(撮影:市民カメラマン・佐藤清一郎)

▼所沢の農家と豆腐職人に、大豆の種まきから収穫・豆腐づくりまでの指導を受けた『三富大豆の学校』の最終回。農の営みを学び、自ら育てた大豆でよせ豆腐を作り、おいしくいただきました。

11月25日(日)／富岡まちづくりセンター  
(撮影:市民カメラマン・津田資雄)



**所沢市民体育館で《春高バレー》を観戦**

第65回全日本バレーボール高等学校選手権大会

▶男女準決勝…1月12日(土)午前10時～▶男女決勝…13日(日)午前10時30分～／市民体育館

入場料(チケット) ▶小・中学生、高校生…500円 ▶一般…1,000円▶アリーナ席…2,500円

◎チケットは、チケットぴあ・ローソンチケットで発売しています。

☎スポーツ振興課 ☎2998-9248

応援に来てね



**あったかな冬** 上安松 金澤 房子

先日、老齢の友人から手編みのマフラーを頂いた。今まで手編みのマフラーなどプレゼントされたことがない私は、嬉しくて毎日巻き方を工夫しながら愛用している。編むことがストレス発散で、毛糸の玉を見れば、安易に物が手に入るこの時代に、贈る相手は笑顔で受け取って、何でもお返しを出せば、孫や友人たちを喜ばせた。何でもお返しを出せば、安易に物が手に入るこの時代に、贈る相手は笑顔で受け取って、何でもお返しを出せば、孫や友人たちを喜ばせた。何でもお返しを出せば、安易に物が手に入るこの時代に、贈る相手は笑顔で受け取って、何でもお返しを出せば、孫や友人たちを喜ばせた。

**誰でもエッセイ** 特別な季節 ◆テーマ「冬」◆◆◆

旭町 野村 小雪

空気がキンと張りつめた朝。通勤用の自転車のハンドルが冷たい。今年もまた冬がきたのだ。冬は一年の一番最後にやってくる。だから神聖な感じがする。一年前の自分と、今の自分を比べてみたりする。そんな季節は愛だけ。

ある年の初雪の夜、私は生まれた。だから名前に「雪」が入る。祖父が付けてくれたのだ。

私と祖父は親友だった。文章を書いていた祖父の仕事場に、幼い私は入り浸りだった。そして一緒にいろいろのことを書いた。ある日、新しいキー屋さんのことを書いていたら祖父が、手をつないでキー屋さんに連れて行ってくれた。でもそれは祖父が行きたかっただけなのだ。私は知っている。だって私に負けじと、甘いものに目がなかったもの。そんなとりとめのない事を思い出すのも、いつも冬。大好きだった祖父が、眠りについた季節。